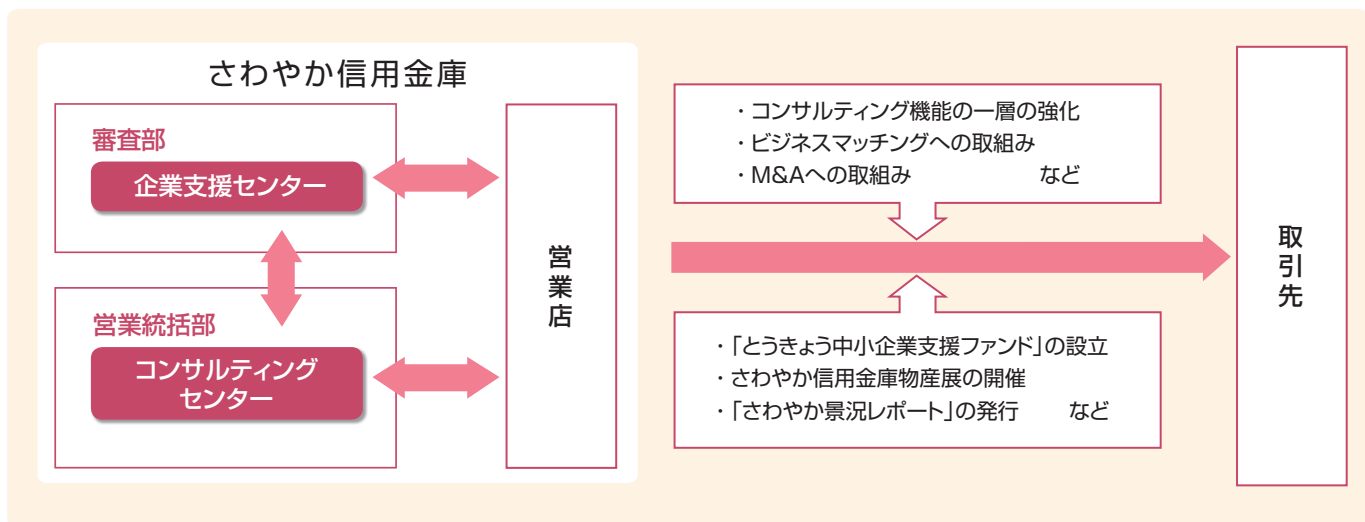


経営改善支援及び地域活性化のための取組みについて

当金庫は、中小企業専門の地域金融機関として資金供給者の役割を果たすとともに、地元の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に貢献するため地域密着型金融を推進しております。

1 中小企業の経営支援に関する態勢整備

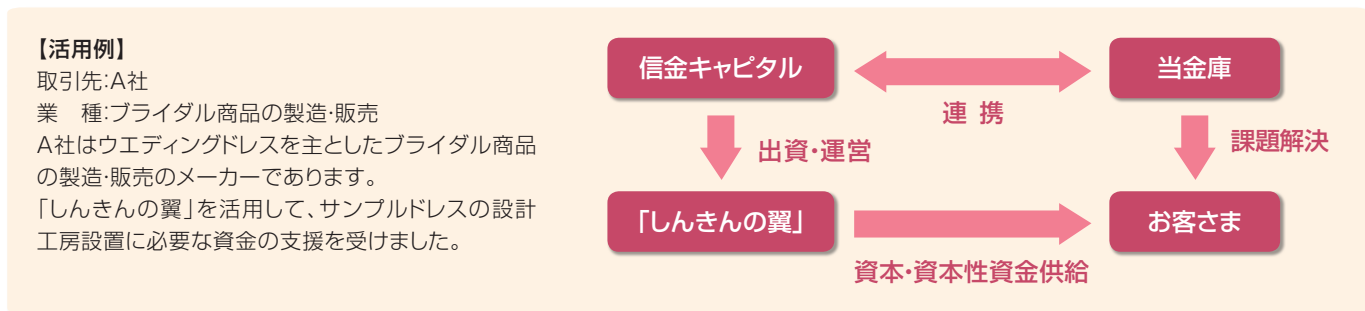


2 中小企業の経営支援に関する取組み状況

(1) 「しんきんの翼」の活用

「しんきんの翼」とは、信金キャピタルが運営する投資事業有限責任組合で、中小企業に対して資本または資本性資金を直接供給することを目的としております。

当金庫は、こうした外部機関も積極的に活用し、お客さまの課題解決を図っております。



(2) TKCとの情報交換会の実施

当金庫は、全国1万人以上の税理士・公認会計士で構成されるTKCグループと業務連携しております。お客さまの課題解決のために、TKCグループの税理士と当金庫支店長がエリア別の情報交換会を実施するなど、積極的な連携強化を図っております。

TKC情報交換会



(3) さわやか塾

さわやか塾では、年間6回の勉強会、経営情報誌、無料経営相談会などを通じて、次世代を担う若手経営者の方に対して経営手法、ノウハウ等を体系的に身につけるサポートや、異業種交流の場をご提供させていただいております。

平成24年度から開始し、述べ116名の卒業生を輩出し、平成29年5月より第6期が36名でスタートしております。

さわやか塾



(4) コンサルティング機能の一層の強化

①業務連携

東京都立産業技術研究センターと新たな連携事業の開始

当金庫の業務提携先である東京都立産業技術研究センターと、お取引先の潜在的な技術的課題を持つニーズの発掘および同センターの事業紹介を目的に、センター職員である専門家と当金庫職員が直接お取引先に同行訪問する、新たな連携事業を開始いたしました。この取り組みにより、お客さまが抱えている技術的な課題を解決するなど、お客さまの事業拡大を積極的に支援いたします。

- ☒ 相続や生前贈与について聞きたい。
- ☒ 事業承継について相談したい。
- ☒ 税金等について相談したい。
- ☒ 後継者がいないため廃業も考えたが、出来ればどこかに事業を譲渡したい。
- ☒ 自社商品について技術的な相談をしたい。
- ☒ 国や公的機関が行う中小企業支援策を活用したい。
- ☒ 海外でのビジネス展開についての情報が欲しい。また相談もしたい。
- ☒ 他社とのビジネスマッチングがしたい。
- ☒ 学生のインターンシップを受け入れたい。

これらの課題解決を図るため、
当金庫は次の機関と連携をしております。

国立大学法人 東京大学 産学協創推進本部
地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
独立行政法人 中小企業基盤整備機構(関東本部)
株式会社 商工組合中央金庫
東京商工会議所 株式会社 タナベ経営
信金キャピタル 株式会社
株式会社 日本M&Aセンター
株式会社 スタッフコンサルティング
日本公認会計士協会東京会
東京税理士会
公益財団法人 大田区産業振興協会
聖心女子大学
公立大学法人 首都大学東京 産業技術大学院大学
公益社団法人 全日本不動産協会東京都本部
TKC東京中央会
提携している弁護士・税理士等

②コンサルティング能力の強化

地域密着型金融を推進するためには、「人材育成」が不可欠であります。そのため、当金庫は職員の公的資格の取得を奨励しています。

● 主な公的資格取得者数(保有者数含む)

(平成29年3月31日現在)

中小企業診断士 20名	社会保険労務士 7名	宅地建物取引士 103名	FP技能検定1級 19名	FP技能検定2級 496名
CFP 9名	AFP 37名	日商簿記1級 4名	日商簿記2級 152名	マンション管理士 4名
管理業務主任者 15名	その他(行政書士他) 5名			計 871名(平成27年度863名)

また、コンサルティング能力を向上するための資格取得にも金庫一丸となって取り組んでおります。平成28年10月に実施された「事業承継アドバイザー3級」(銀行業務検定協会主催)では、信用金庫業界第1位、金融業界全体でも第3位の合格者数となる69名の職員が合格し、銀行業務検定協会から表彰されました。

(5) 「ビジネスフェア」と「さわやか信用金庫物産展」の開催

平成28年6月7日 大田区産業プラザPio1階大展示場ホール

第12回「ビジネスフェア」、第7回「さわやか信用金庫物産展」が開催され、合計97社(ビジネスフェア52社、物産展45社)の企業に出展していただき、大いに盛り上がりしました。

今年度は、10月19日に第13回「ビジネスフェア」、第8回「さわやか信用金庫物産展」を開催いたします。「ビジネスフェア」では、お客さま同士が落ち着いて、ゆっくりと商談に集中できる環境をご提供するために、展示は実施せず、ビジネスマッチングに特化したセミクローズド型の商談会を開催いたします。

また、「さわやか信用金庫物産展」では、物販スペースを更に拡大するとともに、落語家「ヨネスケ(桂米助)」さんをゲストとして招き、試食や落語などにより、賑やかな場を提供いたします。

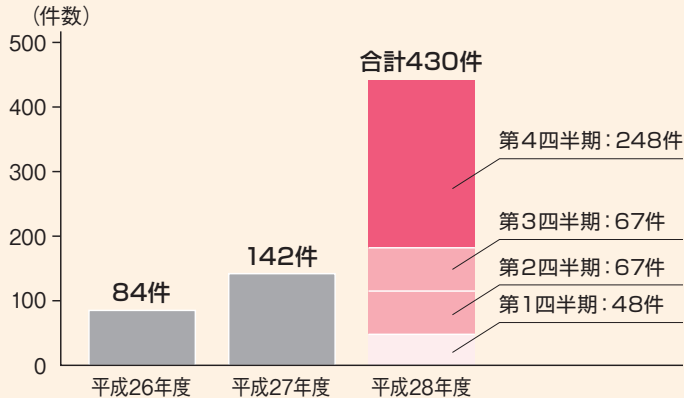


経営改善支援及び地域活性化のための取組みについて

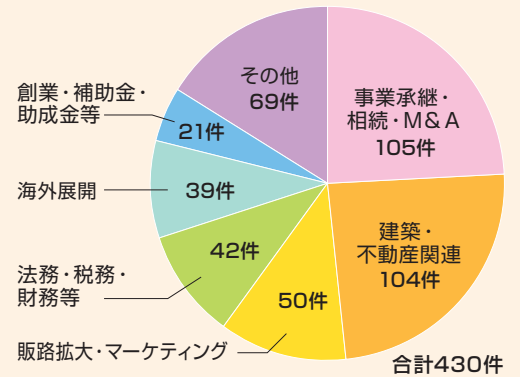
(6) コンサルティング関連の相談受付実績

当金庫では、「新三位一体改革」の一つである課題解決型営業への転換を図っております。

● お客さまからの相談受付件数(コンサルティングセンター受付分)



● 相談内容別件数(平成28年度)



(7) 経営支援(再生・改善)事例

● 業種：不動産賃貸業 ● 創業後年数：66年

経営支援(再生・改善)前の企業の状況

昭和26年に法人設立、飲食業を開業し、昭和38年には、近隣に食品製造工場を建設し事業を継続していました。しかしながら、近年の業況は、大手企業、同業他社との価格競争の影響から利幅が年々減少する傾向となり、累積赤字が膨らんでいく状況にありました。そのことから、同業を廃業、工場跡地に収益物件を建築、不動産賃貸業に転業することとしました。
土地所有者:個人 建物所有者:法人

経営支援(再生・支援)の概要(金庫の施策)

食品製造業を経営していた時の累積した借入金があり、新築賃貸物件の収益で建築資金と他行を含めた既存の貸金を返済していく必要があり、また、事業収入が賃料収入のみとなり返済期間が長期にわたることから、賃料の下落をどう抑えていくかが課題でありました。しかしながら、建築費ならびに既存の全借入金の一本化により、事業計画の実現可能性が高いものと判断し支援を実施いたしました。

経営支援(再生・支援)の概要(当該企業の施策)

賃貸物件の建設は、大手建築業者に依頼し、立地条件はよい物件であるため、安定した収入が見込まれます。また、業種転換により固定費も大幅に削減し、建築物件については、長期にわたって耐久性に富む外壁を採用するなど修繕費の削減を図り、将来の賃料変動に対して柔軟に対応することが可能となりました。

経営支援(再生・改善)後の企業の状況

不動産賃貸業への転業により、安定した収益を確保することが可能となりました。なお、土地所有者が個人であることから、将来的には多額の相続税が発生する可能性が高く、法人による買い取り等についても視野に入れ検討しております。

(8) 事業性評価などへの取組み

当金庫では、担保・保証に必要以上に依存することなく、お客さまの事業内容や成長可能性などを適切に評価した上で融資や助言など、お客さまの成長を支援させていただいております。

また、常に変化している経済環境の中で、お客さまの状況を十分に把握して、お客さまのライフサイクルに合わせた課題解決をするために、ライフサイクルに合わせたコンサルティングメニューを揃えとともに、補助金の積極的な取扱い、各種セミナーの開催、外部機関との連携強化などに取り組んでおります。

(9) 産業技術大学院大学「キャリア再開支援入試」での女性支援

当金庫の産学連携先である公立大学法人 首都大学東京 産業技術大学院大学では、出産や育児等による離職や休業後のキャリアを再スタートする方を対象とした「キャリア再開支援入試」を実施しております。

当金庫では、「さわやか信用金庫就学奨励金」制度を創設し、同入試による女性入学者を支援しております。

(10) 経営改善支援等の取組み実績(平成28年3月～平成29年3月)

		期初 債務者数	うち 経営 改善支援 取組み 先数	αのうち 期末に債務 者区分が ランクアップ した先数	αのうち 期末に債務 者区分が 変化しな かった先数	αのうち 再生計画を 策定した 先数	経営改善 支援 取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	①	11,900	17		15	8	0.1%		47.1%
要注意先	うちその他要注意先 ②	2,642	255	11	224	206	9.7%	4.3%	80.8%
	うち要管理先 ③	45	19	7	11	4	42.2%	36.8%	21.1%
破綻懸念先	④	969	82	2	74	58	8.5%	2.4%	70.7%
実質破綻先	⑤	132	1	0	1	0	0.8%	0.0%	0.0%
破綻先	⑥	50	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	小計(②～⑥の計)	3,838	357	20	310	268	9.3%	5.6%	75.1%
合計		15,738	374	20	325	276	2.4%	5.3%	73.8%

(11) 中小企業等への金融円滑化への取組みについて

～ これからも、今までと変わらないきめ細かな対応をいたします ～

中小企業金融円滑化法は平成25年3月31日に期限が到来しましたが、引き続き地域金融の円滑化に取り組んでまいります。

● 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の件数 (平成29年3月31日現在)

中小企業者

(単位:件)

住宅資金借入者

(単位:件)

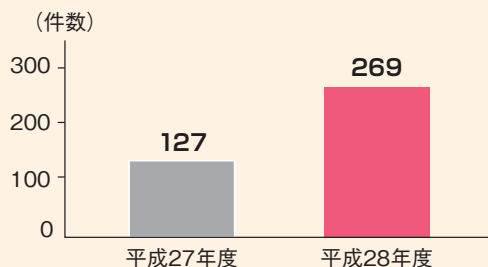
	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数	58,461	55,417	1,288	329	1,427

	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数	1,638	1,496	78	3	61

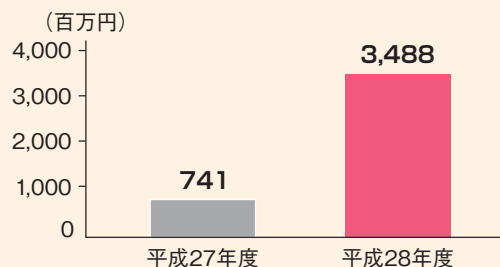
※詳細については、当金庫ホームページをご覧ください。

(12) 創業の件数・融資金額

● 当金庫が関与した創業件数



● 当金庫が関与した創業の融資金額



(13) 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

(平成28年度)

新規に無保証で融資した件数	2,266 件
保証契約を解除した件数	69 件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0 件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	30.1 %



経営改善支援及び地域活性化のための取組みについて

3 地域の活性化に関する取組み状況

(1)「とうきょう中小企業支援ファンド」

当金庫は、中小企業基盤整備機構および東京都内地域金融機関などと共同で「とうきょう中小企業支援ファンド投資事業有限責任組合」（総額25億円）を設立して、中小企業の経営改善支援等に対し積極的に取り組んでおります。

(2)「下町ボブスレープロジェクト」への協賛

「下町ボブスレープロジェクト」により、大田区内の中小製造業の高度な精密加工技術を集結した高性能ボブスレーは、ジャマイカのナショナルチームに正式採用され、2018年の韓国ピョンチャン五輪を目指しております。

当金庫は、地元金融機関として「下町ボブスレープロジェクト」を全面的に支援・協力しております。

下町ボブスレー



(3) 品川区共催「第7回ビジネス創造コンテスト」への協賛

品川区と一般財団法人品川ビジネススクラブが共催で実施している「ビジネス創造コンテスト」は、品川区内・区外を問わず新ビジネス創出に向けたビジネスアイデアを競うコンテストであります。

当金庫は同コンテストに協賛し、「さわやか信用金庫賞」を提供いたしました。

品川区ビジネス創造コンテスト



(4) 港区政70周年記念事業

「オープンデータアプリコンテスト」への協賛

当金庫は港区主催「オープンデータアプリコンテスト」に協賛いたしました。

「オープンデータアプリコンテスト」とは、港区が公開しているオープンデータだけではなく、これから公開して欲しいデータや他団体のオープンデータと組み合わせて、「こんなアプリがあったらいいのに!」「こんなデータがあったら、こんなアプリができそう!」といったアイデアやアプリを募集するものであります。

当金庫は、「さわやか信用金庫賞」を提供いたしました。



オープンデータアプリコンテスト

(5) 大田区ビジネスプランコンテスト

大田区ビジネスプランコンテストは、ものづくりの集積地として認知されている大田区での事業創業を支援し、潜在能力を引き出すことを目的として大田区と公益財団法人大田区産業振興協会と共催しております。

当金庫は後援団体として「さわやか信用金庫賞」を提供しております。

大田区ビジネスプランコンテスト



(6) ウーマンズビジネスグランプリへの協賛

品川区では、女性の起業の可能性について広く周知し、優れたビジネスプランを発掘することを目的に、「ウーマンズビジネスグランプリ」を開催しております。

当金庫は協賛し、「さわやか信用金庫賞」を提供しております。

ウーマンズビジネスグランプリ



(7)「株式会社さわやかリサーチ」始動

当金庫は、お客さまの事業経営に有益なエリア・マーケット情報等の提供を図ることを目的として、平成28年1月に子会社「株式会社さわやかリサーチ」を設立いたしました。

平成28年度より本格的に活動を開始し、機関紙さわやかジャーナル「aile(エール)」を発刊いたしました。



機関紙
さわやかジャーナル
「aile(エール)」

(8) 稲城市と中小企業支援等に関する包括協定締結

当金庫は2月7日、稲城市と中小企業支援で包括協定を締結いたしました。

この協定は、当金庫が持つ専門的なノウハウを活用して、稲城市の中小企業等支援策について相互に連携して取り組んでいくことにより、中小企業等の振興や地域経済の活性化を図ることを目的としております。

当金庫の稲城支店は、昭和43年に開設し、来年50周年を迎えます。開設当時から稲城市とは深い繋がりがあり、共に地域の発展に取り組んでまいりました。今回の協定締結により、さらに稲城市との連携強化を図ってまいります。



稲城市との中小企業支援等に関する
包括協定締結

(9)「大田医療産業機構」の理事に当金庫理事長が就任

一般社団法人「大田医療産業機構」は、大田区の商工団体・医療機関・大学・金融機関が連携し、大田区の高い技術力を持つ中小製造業の医療機器分野への進出を支援することを目的に設立されました。同機構では、販路の開拓や製品開発の投資ファンドの創設を計画しております。

同機構の設立に伴い、当金庫の篠理理事長が同機構の理事に就任いたしました。

(10) さわやか景況レポート

取引先の経営に役立てていただくために、地域の景気動向などを調査・分析した「さわやか景況レポート」を、四半期毎に作成しております。調査方法は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に、当金庫職員が取引先に訪問し、現状の景況感や今後の見通しなどについて聞き取り調査し、分析した結果をレポートとしてまとめております。今後も取引先に役立つ情報を発信してまいります。

なお、本レポートは、当金庫ホームページからもご覧いただけます。



さわやか景況レポート

(11) 出前講座の開催

当金庫では、地元のお客さまのニーズにお応えて、本部スタッフが様々な講座を「出前」しております。

その一例として、日野市商工会主催の「日野まちゼミナール」に協力し、相続に関する出前講座を開催いたしました。



出前講座

4 「金融仲介機能のベンチマーク」に関する開示について

当金庫では、「金融仲介機能のベンチマーク」を活用して、地域金融機関としての金融仲介機能向上に対する取り組みを本誌及びホームページにて、積極的に開示してまいります。

●「金融仲介機能のベンチマーク」の本誌該当項目

8ページ (4) ②コンサルティング能力の強化

9ページ (6) コンサルティング関連の相談受付実績

10ページ (10) 経営改善支援等の取組み実績

(12) 創業の件数・融資金額

(13)「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

● ホームページアドレス <http://www.sawayaka-shinkin.co.jp/>